

「環境省職員による講演会」



9月29日の放課後に環境省 環境再生・資源循環局 環境再生・資源循環局 参事官補佐の 大野 皓史氏に福島県の再生土壌をテーマに講演会と意見交換会を行いました。

本校は、夏にN D F主催のJoshikai in Fukushima や福島県立安積高校主催の2023 国際高校生放射線防護ワークショップに多くの生徒が参加し、福島の現状について学習しました。

大野氏からは、福島の実状や主に再生土壌についてご講演いただきました。講演後は、生徒たちからの質問に答えて頂き、生徒の考えを聞いていただき意見交換を行いました。夏に福島の研修に参加した生徒はもちろん、多くの生徒から活発に意見が出て、再生土壌について考える良い機会となりました。

生徒からは、「大野さんの講演を聞いて、除染土の問題や原子力発電所の問題が決して福島1県の問題ではなく、東京を含めた全国で考えていかなければならない問題であると強く感じた。放射線量をしっかりチェックしたうえですべての行為が行われていることを正しく理解して、自分の頭で判断していかなければならない。メディアの出す情報などに対して、出すメディアだけでなく受け取るこちら側も責任を持たなければならない。放射線はいつも身の回りにあるものであるということを心に留めておく。」や「福島プライドで福島の野菜が安全であることを伝えていることを知っていたので、それと関連づけられた。危険なことと安全なことを区別する重要性が分かった。」などの感想が出ました。